



岡山市連合町内会会報

ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索

発行人：目黒宏平 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872 編集委員長：中松征夫

岡山市町内会長等懇談会

岡山市連合町内会 会長 目黒 宏平

立春の候、町内会関係者各位におかれましては益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成28年2月7日（日）岡山市百花プラザ多目的ホールにおいて、市内の町内会関係者、地域の安全安心に携わっている方々、約350名にご参加いただき、岡山市町内会長等懇談会を開催しました。伊原木県知事、大森市長、宮武市議会議長のほか、多くの来賓の方にもご臨席を賜り、町内会活動をはじめとして地域活動をしておられる方々に感謝と励ましのお言葉を頂きました。

本懇談会は、岡山市連合町内会の活動状況を町内会長等の方々に広く知っていただくとともに、相互の理解と連携を深めるために開催しており、今回で9回目となります。開催にあたり準備をしていた実行委員会メンバーをはじめ、ご協力いただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

また、日頃から永年にわたり地域活動にご尽力され、れんげ賞を受賞された方々と町内の通学路の安全確保の為に

ご尽力いただいた町内会長には、心から感謝申し上げます。

今年度は、研修や行政等との意見交換といった岡山市連合町内会が行った取り組みと、各区の連合町内会での活動の取り組み内容の報告を行いました。参加してくださいました皆様には、岡山市連合町内会の活動内容が伝わり、今後の活動に更なるご協力をいただければ幸いです。

子ども会や町内会活動への参加者の減少を危惧する意見や災害時の避難場所確保の意見も頂き、今後の活動の課題としていきたいと思えます。

また、この懇談会では、毎回各方面で活躍されている方に講演をお願いしており、今年度は健康についての講演会を行いました。

岡山大学名誉教授で光生病院名誉院長の小出典男先生にお願いし、「私の脳梗塞顛末記」の講演をしていただきました。

健康な日々を過ごすためには、「食生活・運動・生きがい」の3つの要素が重要であり、年に1度は定期検診を受け、癌を早期発見することが大切であること等、ご自身の

体験談を交えながら、興味深く楽しい話をしていただきました。聴講いただいた方には、自身の健康面について参考にしていただけたらと思っています。

現在の行政活動は地域の協力なしでは成り立たないので、地域と行政がともに協力し合う必要があります。

また、災害時には地域住民がお互いに助け合うという互助の精神の重要性が再認識されていることも忘れてはいけません。この懇談会を通して、町内会の絆がより強まることを念願しております。

これからも包括的な住民組織として、平穏で安らぎのある地域社会の形成、構築、維持に向けて進んでまいりたいと思います。何卒今後とも町内会、連合町内会へのご協力をお願い申し上げます。



町内会長等懇談会

会報27号 目次

町内会長等懇談会	1
第1回おかやまマラソン	2
常任理事会構成員視察研修に参加して	3
姫路・鳥取・岡山三市姉妹交流会	4
全国自治会連合会石川県金沢大会	4
岡山市連合婦人会連合町内会役員懇談	5
市長・教育長・岡山つ子育成局との懇談	5
和歌山視察研修	6
小規模多機能自治に関する研修会に参加して	7
新春互礼会	8
中四国ブロック会議福山大会	8
学区・地区の話題	9
石井学区・陵南学区	11
旭竜学区・城東台学区	11
第二藤田学区・小串学区	10
コラム	12
足守学区・古都学区	13
第三藤田学区・芳田学区	14
南方地区	13
岡山市連合町内会の動き	15
岡山県自治会連合会の動き	15
全国自治会連合会の動き	15
クイズ	16
市民憲章	16
編集後記	16

感動をありがとう！走る・みる・支える
皆さんの協力で大成功！

第1回おかやまマラソン

おかやまマラソン実行委員会事務局

平成27年11月8日、第1回
おかやまマラソンが開催さ
れ、午前8時45分、越宗孝昌
大会実行委員会会長の号砲と
ともに全国から参加した約
1万4500人の市民ラン
ナーが岡山県総合グラウンド
のジップアリーナ前をスター
ト、岡山市街地を駆け抜けま
した。

岡山市連合町内会の皆様方
をはじめ、多くの地域の方々
に支えられ、無事開催するこ
とができました。4千人を超
える大会ボランティア、沿道
から熱い声援を送っていただ
いた13万4千人の皆様、ご協
力いただきました学校、企
業、団体等すべての皆様に心
より感謝申し上げます。特に、
コース沿道の地域の皆様には
多大なご理解・ご協力をいた
だき誠にありがとうございました。

大会当日は、皆さんの熱い
思いが天に届いたのか、早朝
に降っていた雨もスタート時
にはやみ、カラフルなウェア
を着たランナーたちが、市街
地中心部や自然豊かな干拓
地、岡山城などをつなぐ日本
陸連公認コースを思い思いの
ペースで駆け抜けました。沿
道では歓声が途切れることな
く、走る人、みる人、支える
人が一つになり、一緒に盛り
上がった大会になったと思い
ます。

大会スペシャルアンバ
サダーの有森裕子さんも
2007年以来8年ぶりのフ
ルマラソンに出場されまし
た。ランナーだけでなく、ボ
ランティアの皆さんや応援に
出てこられた皆さんとも触れ
合いながら、楽しみながらの
フィニッシュ。「岡山にこん
なに人が集まって応援してく
れるんだということを改めて
感じました。何よりも多くの、
沿道の人々が声援してくれて
いるのがうれしかった」と話
されていました。



大会スペシャルアンバサダー有森裕子(中央)

レースにおいては、30キロ
付近で岡山市出身の三木啓貴
さん(岡山陸協所属)が抜け
出し、後続を突き放して2時
間24分49秒のタイムで優勝。
総合女子は鈴木順子さん(兵
庫県三菱重工高砂陸上部所
属)が、初代チャンピオンに
輝きました。マラソンの完走
者は12,412人。約9割
のランナーが6時間の制限時
間内に完走しました。

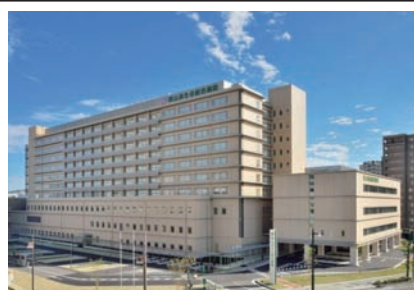


スタート直後の様子

ファンランには、アンバサ
ダーの山口衛里さん、伊原本
岡山県知事、大森岡山市長も
出場して大会を盛り上げまし
た。

また、県総合グラウンドで
は、11月7・8日の2日間、
「おかやまマラソンEXPO
2015」を開催しました。
ご当地グルメのブースのほ
か、有森裕子トークショーや
有森裕子&山口衛里ランニン
グクリニック、ステージイベ
ントが行われ、ランナーだけ
でなく、来訪された皆様にも
楽しんでいただきました。

次回大会は、平成28年11月
13日(日)開催予定で準備を
進めていくこととしていま
す。「正式には3月の実行委
員会にて決定」
今後ともよろしくお願いし
ます。



岡山済生会総合病院
〒700-8511 岡山市北区国体町2番25号



岡山済生会総合病院附属外来センター
〒700-0013 岡山市北区伊福町1丁目17番18号

岡山済生会総合病院は、平成
28年1月1日から入院と外来
が分離し、救急診療・入院診
療を行う岡山済生会総合病院
(国体町)と外来診療を行う岡
山済生会総合病院附属外来セ
ンター(伊福町)になりました。

TEL 086-252-2211
(大代表)

※病院・外来センター共通です。



岡山済生会総合病院附属外来センター
当院のホームページもご覧ください
<http://okayamasaiseikai.or.jp/>

常任理事会構成員 視察研修に参加して

岡山市連合町内会 常任理事 島村 誠一

平成27年9月28日～29日常

任理事会のメンバーで、福井県の坂井市と福井市を訪問しました。視察研修の主な目的は、福井県が小中学校の全国学力テストの成績で例年上位にある要因を「地域と学校教育との関わり」の観点から情報収集することでした。

28日は坂井市の三国木部地区と坂井市木部地区を訪問しました。

三国木部地区では、「三国木部まちづくり協議会」の方々が「学校教育と地域との関わり」について説明してくださいました。ここでは、地域の人々の協力で小学校が学田で「フナ」を放流して無農薬の米作り体験をさせていました。農作業体験を通じて、適時、適切な行動の大切さを

学ばせているようでした。

坂井市木部地区では、「坂井木部まちづくり協議会」の方々が、まちづくりの活動状況について説明してくださいました。小学校の校長、教頭が協議会の委員になり、災害時の備蓄倉庫が学校にある等、地域と学校の結びつきが非常に強いとのことでした。

いずれの地区も、田園風景が広がっている地域で、子ども達が家に帰れば多くは祖母がいる家庭環境で、落ち着いた生活している印象を受けました。

29日は福井市を訪問しました。福井市自治会連合会と福井市教育委員会の方々が説明にあたってくださいました。

福井市の概要説明後、教育委員会の方から次のような説



学校田見学の様子

明がありました。

1 学校教育の概要について
学級編成については、学級編成基準が小学校35人～36人、中学校30人～32人ですが、基準以下でも一定の人数以上は加配教員があり、教員の配置が手厚いことと、平成19年度から全小中学校で2学期制を実施している。

2 中学校区教育について
同じ中学校区内にある保・

幼・小・中が一体となり、子どもの学びの連続性、目標・内容の系統性、指導の継続性を踏まえ、意図的・計画的に一貫した取り組みを行うこと、地域と協働した教育を進めることを通して、子どもが地域の一員として、将来にわたって地域づくりに貢献できるようになることを目指している。

この取り組みで、進学での抵抗感が軽減されることになり、学区外への通学は殆どないとのことでした。

また、授業等の教育活動や地域と協働した取り組みを中学校区ごとに公開すること、学校、家庭及び地域が一体となって教育について考える機運を高めるために、年一度「教育ウィーク」を開催しているとのことでした。

家庭と地域の環境については、祖父母の存在が大きいとのことです。共働き世帯の割合は全国1位ですが、核家族の割合は少なく、三世代世帯もしくは近所に祖父母がいる

家庭が多い。そして、公民館は原則小学校区ごとにあり、しかも小学校に近接している場合が多いとのこと、公民館の活用等で放課後の子供達の過ごし方を大切にしている印象でした。

今回の視察研修は、大変有意義なものでした。福井では学校と地域の関係が非常に良好な状況にあり、子どもを育てるのに、学校（行政）、家庭、地域が一丸となり、さまざまな方策で取り組んでいることがわかりました。参考になった点は機会をとらえて関係機関や関係者に報告をし話し合い、今後の活動に有効に活用したいと思っています。



福井市の会場前

姫路・鳥取・岡山 三市姉妹交流会

岡山市連合町内会 常任理事 光岡 久志

鳥取市自治連合会、姫路市連合自治会、岡山市連合町内会の交流会が、平成27年9月24日に姫路市「播磨国総社会館」において開催されました。

今回の議題は、「自治会、町内会の当面の課題とその解決に向けた取組」をテーマに、活発な意見交換が行われました。

鳥取市から幼小中一貫校の開校について取組みが報告されました。この課題は、少子化、教育効果の向上等の問題を背景に、課題達成に向けて「福部地区の教育を考える会」を立ち上げ、教育者、保護者、自治会が一体となって取組み、一定の成果を得ることができたとの報告がありました。

また、姫路市からは、住民の連帯感を深めるためのコミュニティ活動拠点整備について取組み、公民館を中心に拠点が設置された経緯、結果が報告され、さらに、岡山市から男女共同参画の取組み状況について報告しています。

現在、地域社会では少子高齢化、地域の連帯力低下、過疎化といった問題が各地で起

こつています。今回の議題は、そういった中での地域づくり、活性化がテーマとなりました。議題解決に向けて、違う組織や団体の人達が関わりながら、役割を決め協力することで解決を図ったものです。

現在、協働の取組が求められており、当然、市民、行政との連携は重要です。地域づくりは、生活をしている地域が拠点であることを基本とし、問題点を共有し、協力の場を大切にしながら、男性、女性、高齢者、一人ひとりのもてる力を発揮し合える地域づくりが必要であると思います。

最後に、今後についても、地域づくりが、自治会、町内会の共有の課題目標であることを確認し閉会となりました。



三市姉妹交流会の様子

全国自治会連合会 石川県金沢大会

平成27年度全国自治会連合会の全国大会が、平成27年10月27日、北陸新幹線が開通した石川県金沢市の石川県立音楽堂で開催され、全国の自治会から900人を超える参加者がありました。（岡山市からは8名が出席）

大会は四部構成で、すばらしいパイプオルガンのウェルカム演奏で始まった第一部の式典では、福島県の鈴木光二会長から、大規模災害の時は地域の絆が一番の助けであり、防災は地域住民が中心となつて活動していくことが重要と挨拶されました。次に開催地の石川県知事、金沢市長の歓迎の挨拶の後、内閣総理大臣からのメッセージが披露されました。その後、全国自治会連合会会長表彰（岡山市では岸本俊男、久世英一が受賞）と、全国自治会連合会創立30周年記念特別功労感謝状贈呈（岡山市では兼松久和、橋本進が受賞）がありました。また、大会宣言が採択され、叙勲受章者の紹介が行われました。



大会の様子

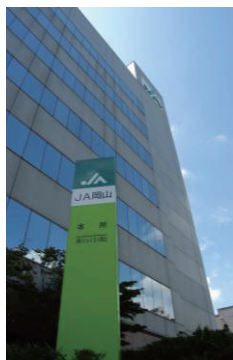
第二部では、「金沢のまちづくりとコミュニティ」と題して、前金沢市長の山出保氏の講演が行われました。災害発生時や地縁組織での核となるのは町内会であるとのことでした。

第三部では「特色ある地域おこし」をテーマとして、加賀温泉郷でのレイカガの取組みと、白山市文化協会の取組みについての活動報告がありました。

第四部は会場を移して、金沢素戔子などの伝統芸能や浅野太鼓に魅了されました。全国各地からの参加者との情報交換や交流も行うことができたため、大変有意義な大会になりました。

JA岡山は

『ありがとう伝えて広がる協同の和』を合言葉に
次世代農業従事者はもとより、JA事業をご利用の方々へ
広く組合員加入を推進しています。



岡山市農業協同組合

〒700-8535 岡山市北区大供表町1番1号
TEL(086)225-3251 FAX(086)225-9878

岡山市連合婦人会と 連合町内会役員 懇談

岡山市連合町内会 副会長 小山 旭

10月7日、市役所会議室で連合婦人会と連合町内会役員が、次の3点について懇談しました。

- ① 自主防災活動について
- ② 地域活性化、まちおこしの事例
- ③ コンパクトシティについて

①については、平島学区のネットワーク祭において小学校の地震避難対策、保護者への引き渡し、各町内会と合同での防災訓練。平津学区の起震車体験、土嚢作りと非常食体験、芳明学区の救命講習、煙道体験などの発表がありました。自主防災活動において子どもから大人、そして地域の女性たちも多く参加して頂き、繰り返し続けることが大切であり、自主防災組織が単位町内会で進めていく事がベストと考えます。②については、宇野学区でコミュニティハウスにてボランティアによる宿題の見守りを実施して、地域と子どもの良好な関係を築いています。御津学区では、婦人会が復活して敬老会など地域の行事に積極的に参加しています。③コンパクトシティでの人を集めると



懇談会の様子

いう考え方は困難で、年配の人は自分の受け継いだ土地を守るという考え方が強いと思われる。限界集落↓消滅集落と言われるようになっていきます。庄内学区では避難訓練の防災訓練は最も充実していて、訓練を通して地域がまとまっています。連合町内会は、自主防災活動と町おこしに向けてそれぞれの地域で果敢に取り組んでいます。連合町内会は、地域のお父さんで、婦人会は、地域のお母さんのような形で、地域の課題に協力していく事が大切であることを再確認いたしました。各学区が、「明るく元気に逞しく」を目指し頑張っていきたいと思っています。

市長・教育長・ 岡山っ子育成局との懇談

岡山市連合町内会 副会長 多賀 克充

10月29日市役所で、市長・教育長など13名と岡山市連合町内会役員14名で懇談をしました。

- ① 学力テスト結果
- ② 学校と地域の協力関係
- ③ 認定保育園による幼保一体化
- ④ 放課後児童クラブ運営

①では、無回答が多いことへの対応の話が教育長よりありました。しっかりと、目あてや見通しを持ち、解決活動に移れる授業展開。授業後、子どもを伸ばす声かけや最後までやり遂げる心を育てる。懇談の中で、教員の中間層の年代が少なく、教育場面を通じての直接助言や異年齢との研修。講師を含め指導力の向上に努める。

教員の人数の問題は、一・二年生は国が定めている。それ以外は、35人学級実現を目指している。平成29年からは、岡山市単独で採用試験の実施を計画したい。

今の若い教員の声も聞きながら必要な見直しは進めていきたい。

②では、放課後宿題教室など、学校現場や地域で子どもたちの学習を支えていただいている。学力だけでなく、地



懇談会の様子

域での子どもの居場所など、今後とも応援していただくことを広げていきたい。

市長より、「教育問題は一朝一夕にいかないが本当に必要な問題としてあたっていきつある。」という話がありました。

③では、5ヶ所が創立認定子ども園として動いている。耐震化・建て替え・公立幼稚園が全くなかないなどを考え、地元や連合町内会に説明や理解を得ながら進めていく。

④では、地域によって支援員への待遇が大きく異なっており、改善を検討している。健康保険・年金についても全員加入・給与等の待遇も協議している。

今回の懇談は、具体的に率直な意見交換となり有意義な会となりました。

ハイブリッドカーならカローラ岡山へ

COROLLA FIELDER

カローラフィールダー
HYBRID G* W×B*
[1.5L+モーター・2WD]



ボディカラー:
ホワイトパールクリスタルシャイン

PRIUS

プリウス
A* ツーリングセレクション*
[1.8L+モーター・2WD]



ボディカラー:
エモーションナルレッド

NOAH

ノア HYBRID G
[1.8L+モーター・
7人乗り・2WD]



ボディカラー:
ブラック

トヨタカローラ岡山

詳しくはホームページで !!
トヨタカローラ岡山 検索

各店の定休日は 毎週月曜日
月曜日が祝日の場合は、翌日が定休日となります。
(ゴールデンウィーク、夏季休暇・年末年始を除く)

和歌山視察研修

岡山市連合町内会 常任理事 伏見 公誠

11月5日朝七時半、繁定副市長に見送りをいただきながら和歌山に向けて総勢34名(事務局3名を含む)バスに乗り込みました。

昼食休憩を取り、13時半頃広川町の「稲むらの火の館」と呼ばれる津波防災教育センターに到着しました。

この館は、勝海舟、福沢諭吉などとも交流のあった濱口梧陵の記念館となっており、安政の大地震の津波被害から沢山の命を救った実在の人物です。

また、その後約4年を掛け全長650m、高さ5mの広村堤防を造り、昭和21年の南海道地震の際に4mの津波から内側を守っています。

奇しくも当日は、160年前安政の大津波に襲われた日であり、広川では「津波防災

の日」とし、戒めている日でありました。(11月5日は、世界津波の日としても制定されました。)

翌日は、上秋津農村環境改善センターに向かい、田辺市自治会連絡協議会の皆様方より、田辺市の防災状況について説明を受けました。

田辺市は、平成17年の合併により、近畿地方で最大の面積となり、5本の河川を有していることから、海岸線の津波だけでなく、河川の氾濫、山間部の土砂崩れなどの災害に悩まされています。

予想されている津波は12mを超える地域もあります。しかも地震発生からの到達予想時間が15分と早いことから、町内会の要望で、学校建設時に二階建ての設計予定を三階建てにしてもいい、外階段を付けて屋上を避難場所としています。

また、高速道路建設時にも道路高台まで、避難用のスロー

プを付けてもらうなどしています。

台風被害も総雨量が2000mm近くになることもあり、避難経路がなくなることから、農道、林道の整備を進めています。

行政も早期避難情報を出し、早めの避難を促進しています。

紙面の都合で全てはお伝え出来ませんが、瀬戸内海に守られた岡山市と意識の違いがあります。

我々も、南海地震の可能性を鑑み、行政と共に防災対策・防災意識の高揚を図らねばならないことを実感させられた研修でした。



防災学習センターでの研修



広村堤防見学の様子



田辺市での研修の様子



社会医療法人 - 救急指定病院 -

光生病院

(公財)日本医療機能評価機構認定病院

理事長・院長 佐能暁雄

☎(086)222-6806 (代)

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目8番35号

バス：JR岡山駅より倉敷方面行き光生病院前下車

タクシー：JR岡山駅・天満屋より約5分

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科
呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 心臓血管外科
神経内科 リハビリテーション科 放射線科 心療内科
皮膚科 泌尿器科 ペインクリニック内科 歯科

受付時間

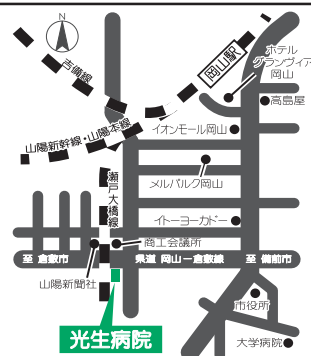
午前 8:30～11:45
午後 12:30～16:30

診療開始

午前 9:00～
午後 13:00～

休診日

土曜午後・日曜日・祝日
急患は、24時間受け付けます。(内科・外科)



平成27年11月13日、岡山市勤労者福祉センターにおける岡山県自治会連合会主催の小規模多機能自治に関する研修会に参加しました。中山間地域に位置し、全域が過疎指定の島根県雲南市政策企画部地域振興課 板持周治氏が講演され、地域における自主組織の活動事例が紹介されました。その中には「安全・安心ネットワーク」で既に取組んでいるものや公民館やJA岡山での活動に類似したものもありました。それぞれの地域が課題や特性に照らした自主的な地域づくり活動であり、過疎地ならではの共助や純朴な地域性に起因するまとまりがうかがえました。



研修の様子

言葉として耳新しい「小規模多機能自治」ですが、我々には10年ほど展開してきた安全・安心ネットワークの諸活動があります。これの更なる充実を図るべきではないかと私は思います。安全・安心ネットワークは平成18年に組織化されて以来、学区それぞれ時々の課題に取り組んできました。しかしながら学区により活動内容にはかなり格差が生じているのではないかと推察します。そのような実態

や学区別の規模等を考慮すると一律の助成金にも疑問が残ります。真に市民と行政が垂直関係から水平関係（協働）に変わり、地域課題を地域で解決させて行こうとするならば、もっと身近で手軽でシンプルな行政組織が望まれます。特徴を活かした区づくりや地域づくりは区制を敷く岡山市にあって、区で予算執行出来、更に出先の地域センターにも予算執行が出来る権限を付与すべきと考えます。また、ソフト面に長けた人材を育て、円卓会議できめ細やかなアドバイスを求められる様な仕組みを作らなければ、今回の発表事例のような地域の特徴を活かした小規模多機能自治の実現は困難ではないでしょう

か。また、活動主体の地域のリーダーが負う責任の度合いに比し、あまりにも行政の負担が軽すぎないでしょうか。この研修会での発表事例には、参考とすべきものもありました。リーダーにとって自学区の課題は何か、いま取り組むべきは何か、組織としての結束力やこなせる力量はどうかの判断は最も重要であり、正しい選択をしなければなりません。リーダーが勇み込んで後がついて来ないのでは意味がありません。後継者育成も含め、リーダーの力量が益々問われる状況になり、ボランティアとは言え大いに責任を感じる次第です。

小規模多機能自治に関する研修会に参加して

岡山市連合町内会 理事 定廣 好和

 医療法人社団
岡山純心会
〒701-1202 岡山市北区櫛津310-1
前田医院
TEL (086) 284-7676 FAX (086) 284-7645
介護老人保健施設
ハートフルきらめき荘
TEL (086) 284-1276 FAX (086) 286-0010
<http://www.okayama-junshinkai.co.jp/>

飛岡 ひおか 内科
受付時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00 ~ 12:30 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ×
16:00 ~ 18:00 ○ ○ ○ × ○ ○ ×
往診・在宅医療の実施
岡山市北区中山下 2-8-20
(086) **233-1188**

社会福祉法人 **鷺山会**
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
岡山シルバーセンター
〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1
☎086-287-5111 ☎086-287-5005
岡山シルバーデイサービスセンター
岡山シルバー在宅介護支援センター
ケアハウス ゆうすてい 岡山

 **岡山商工会議所**
会 頭 岡 崎 彬
副 会 頭 古 市 大 藏
副 会 頭 中 島 基 善
副 会 頭 野 田 好 信
副 会 頭 石 井 清 裕
専務理事 窪 津 誠

新春互礼会及び市政報告会

岡山市連合町内会 副会長 永見 勝

平成28年1月7日メルパルク岡山において、岡山市連合町内会新春互礼会及び市政報告会が開催されました。来賓として宮武議長、小林副議長、市側から大森市長、横山・繁定副市長、奥野局長のご臨席を賜りました。

目黒会長より、「昨年は、

集中豪雨災害が多く、大規模な浸水被害があったことから、岡山の防災について連合町内会も大きな関心をもち、和歌山県視察研修に行ってきました。また、岡山マラソンは多数の参加者や多くの協力や応援もあり、成功を収めたようだが、コースになった地域での不便さ等、問題点については、対策を要望していきたい。」と挨拶がありました。

次に岡山市連合町内会会員の方々と27年度の功労表彰受賞者の披露がありました。

来賓の宮武議長より、「市議会としても、安心して暮らせ、活力あふれる岡山の構築のため、皆様方のご支援、ご協力をお願いします。」と挨拶がありました。

市政報告会では、大森市長



目黒会長挨拶

より昨年取り組んだ主な施策について報告があり、「第二回岡山マラソンでは、約4千人のボランティアの方々、13万4千人の応援の方々、連合町内会の皆様には本当にお世話になりました。できる限りの改善をしていくので、今年もよろしくお願いします。」

また、路面電車については、岡山駅前に平面乗り入れした方がより利便性が増すと考え発表しましたが、今後も皆様の声を聞きながら検討していきます。

市民会館移転については、市民が集い、演劇やライブを行う等新しいイメージのものにして、33年度までには完成を考えています。」など力強い市政報告会となりました。

中四国自治会連絡協議会

岡山市連合町内会 常任理事 岸本 戴男

平成28年2月10日（木）広島県福山市において、平成27年度中四国自治会連絡協議会が「高齢社会を迎えての自治会の役割」をテーマとして開催され、約400名が参加しました。岡山市からは8名が参加しました。

香川県連合自治会長の滝川様の挨拶で始まり、来賓の広島県知事等からも、自治会による共助の重要性が語られました。

広島県社会福祉協議会の上田正之氏の基調講演では、「緊急の時は近所の力が非常に重要であり、モノ、カネ中心の社会で、行政、他人任せのまちづくりから、人のつながりや知恵、行動の社会で、行政と住民の協働するまちづくりにしていく必要がある。」との話がありました。

福山市立大学教授の前山総一郎氏をコーディネーターとして、各自治会の代表者によるパネルディスカッションも行われ、住



パネルディスカッションの様子

民や役員の高齢化に伴う問題に對して、「徘徊模擬訓練」による声かけの重要性を再認識した事例等が紹介されました。岡山からは「安全・安心カプセル」の事例を紹介し、参加者の関心を受けました。

まとめとして、上田正之氏が、「専門職の人が、一部の人に福祉サービスを届けるだけでは住民の福祉意識は向上しないので、多様な人が出来るだけでなく参画していかないと地域づくりは進まない。『向う三軒両隣』の考えは、町内会・自治会が中心となつて進めて行くのが最も適しており、重要である。」と締めくくられました。

地域に根づいた医療と福祉

【医療法人 雄風会】

- あしもりクリニック
 - ・医療福祉連携室
 - ・あしもりクリニックデイケアセンター
 - ・あしもりクリニック居宅介護支援センター
- 新あしもりクリニック
 - ・新あしもりクリニックデイケアセンター
- 介護老人保健施設 高松アクティブホーム
 - ・アクティブデイケアセンター
 - ・アクティブデイサービスセンター
- 加茂川診療所
- あしもり訪問看護ステーション
- たがまつ健康増進センター
 - ※岡山市介護予防ポイント事業指定

【社会福祉法人 義風会】

- 特別養護老人ホーム 足守荘
 - ・足守荘デイサービスセンター
 - ・足守荘グループホーム
 - ・あしもり居宅サービスセンター
 - ・アクティブ介護保険サービスセンター
 - ・あおぞら在宅介護支援センター
- ケアハウス あしもり
- 地域密着型特別養護老人ホーム/短期入所
 - ・小規模多機能型居宅介護/短期入所
- 認知症カフェ「ほっとりんく」
- 住宅型有料老人ホーム アートホームあしもり
- デイサービスセンター桃丘 2号館
- ホームヘルパーステーション桃丘
 - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- グループホーム桃丘
- あしもり健康増進センター
 - ※岡山市介護予防ポイント事業指定

【提携事業所】

- 有限会社 かりゆし
 - ・介護付有料老人ホーム アートライフあしもり
 - ・グループホーム高松
 - ・あおぞらホームヘルパーステーション
- NPO 法人介護高齢者ドックセラピー普及協会
- kids21子育て研究所
- まいらいのふ倉敷
- あしもり鍼灸センター
- シルバーピアーズ

岡山市認可保育園/児童所児童発達支援事業所

平成28年4月開園 たがまつ すくすく保育園

<本部> 医療法人雄風会/社会福祉法人義風会

TEL:086-295-9557

<http://www.okayama-ikiiki-shiawase.net/>

「坪田譲治の街」 石井学区を目指して

石井学区連合町内会
会長 矢根 亮二

私達の石井学区には、岡山市の名誉市民である童話作家「坪田譲治」の生家跡地があり、このお宝を使った街づくりを推進すべく、岡山市区づくり推進事業の承認を受け、連合町内会が中心となり、学区内の各種団体・石井小学校・坪田譲治を顕彰する会にも声をかけ、本年5月「坪田譲治の生家への道と童話を生んだ能登川を整備する会」を発会しました。

発会以降、能登川の魚類等の調査、能登川の川掃除、生家跡地の清掃、先進している伊島学区の観音寺用水「緑と水の道」の視察等事業を行ってきました。

そして、11月23日に健康と学習を兼ねたウォーキングイベント「学区内の譲治のゆかりの地を歩く会」を実施しました。①譲治の母校である石井小学校に集合し、②譲治の常設コーナーがあるシティミュージアム、③駅西口2階の善太と三平像、④譲治が買い物をした奉還町商店街、⑤童話を生んだ昔の大川（能登川）、⑥譲治の父が経営していたランプ芯の工場跡地（現在のなかよし保育園）、⑦坪田家の本家、⑧譲治の作品に登場するエヘンの橋、⑨心の詩碑が建立されている生家跡地、⑩石井幼稚園内にある譲治の勉強ができる子どもの館、そして石井小学校に戻るコースです。学区内外から老若男女107名の参加があり、それぞれのゆかりの地では、坪田譲治を顕彰する会の先生方の解説も加わり、楽しい会にすることができました。

また、駅西口から生家跡地までの矢印看板の設置と、一部ですが能登川に蛍が出る為の環境整備工事を、来年にはできるよう、岡山市に働きかけを行っています。石井学区は「坪田譲治の街」を目指して、みんなで取り組んでおります。



歩く会（エヘンの橋にて）

「安全・安心ネットワーク活動の現状と未来」

陵南学区連合町内会
副会長 二宮 克己

我が陵南学区安全・安心ネットワークは、本格的な活動を始めて今年でやっと三年目という組織です。すでに学区には連合町内会とコミニティ協議会の二つの組織があり、さらにもう一つ組織が出来たことで、一時的に混乱を招いた時期もありました。

状況を整理するために三組織の役員で協議を重ね、それぞれの組織の在り方・役割をはっきりさせることとすこしずつ落着き、三組織それぞれがカバーし合いながら活動するというベターな状態になりつつあるのが現状だと思っています。

そのような中、安全・安心ネットワークの「防犯」「防災」「交通安全」「環境美化」「地域福祉」「健康づくり」という取り組み範囲の広さゆえの大変さも実感しております。それまで学区の婦人会・老人会・愛育委員会・体育協会等の各種団体に頼りっぱなしで行ってきた行事にも、出来る限り安全・安心ネットワークとして関わっていくことでより幅広い活動になるのではないかと、思いで行事ごとにネットワークと各種団体との間で綿密な協議を重ね練り上げた内容での開催を心がけております。

元々、各種団体の皆さんも目的は同じ！地元を愛し、地域をより住みやすい安全安心な街にしたいとの思いで活動されておられます。

これは安全・安心ネットワークの活動理念そのものですので、活動が融和することが自然の流れだと思えます。今年の陵南学区安全・安心ネットワークの活動のスローガンは「街づくりは人づくり、深めよう地域の絆」です。広報のためにのぼり旗を制作し広報誌を発行するなど学区住民の皆さんの活動への理解を深めてもらう啓発活動も展開しております。



青色パトロール
一斉活動

運動会での
広報活動

最期に、一番大きな課題は、同じ志を持つて活動してもらえらる後継者の育成をどのように行っていくかという問題です。子供たちを中心とした次世代の若者たちに「我々ボランティアの活動を見て！学べ！」だけではおのずと限界があり、暗中模索の真つ最中です。永く活動されておられる学区で解決策のヒントをいただければ幸いです。

す。これは安全・安心ネットワークの活動理念そのものですので、活動が融和することが自然の流れだと思えます。今年の陵南学区安全・安心ネットワークの活動のスローガンは「街づくりは人づくり、深めよう地域の絆」です。広報のためにのぼり旗を制作し広報誌を発行するなど学区住民の皆さんの活動への理解を深めてもらう啓発活動も展開しております。

す。これは安全・安心ネットワークの活動理念そのものですので、活動が融和することが自然の流れだと思えます。今年の陵南学区安全・安心ネットワークの活動のスローガンは「街づくりは人づくり、深めよう地域の絆」です。広報のためにのぼり旗を制作し広報誌を発行するなど学区住民の皆さんの活動への理解を深めてもらう啓発活動も展開しております。

花満ちる街・陵南

社会福祉法人 幸輝会

国府市場事業所 乙多見事業所

特別養護老人ホーム幸輝園
高島デイサービスセンター
幸輝園ヘルパーステーション

特別養護老人ホームさつき園
小規模多機能型居宅介護がたり
幸輝園デイサービスセンター
幸輝園ケアプラザセンター
ケアハウスかがやき

〒703-8203 岡山市中区国府市場985-1
Tel(086)275-0220 / Fax(086)275-0277
http://www.fukushi-koukikai.jp/

葬儀 法要 「いい葬儀だったねえ…」

ア・パ・リ・ホール

ホール使用料
光
スタッフ費用
無料!!

岡山・倉敷で11ホール

JA岡山指定店

岡南福吉ホール
西市ホール
西川原ホール

お気軽に
お問合せ
ください!

☎(086)902-1122
☎(086)244-3377
☎(086)271-0011

稲むらの火

旭竜学区連合町内会
会長 瀧本 孝

私たちの地域は、以前から「福祉の旭竜」としてよく知られていますが、最近では、当連合町内会が中心になり、「安全・安心のまちづくり」にも、重点的に取り組んでいます。その活動の一環として、東日本大震災発生一年後の平成24年度から地震災害訓練と洪水災害訓練を、毎年度交互に実施しています。

平成27年度は昨年6月下旬、南海トラフ地震の発生を想定した避難訓練を行いました。

訓練の内容は、南海トラフ地震が発生し大きな被害が予想されるので、旭竜小学校体育館へ避難してくださいというものでした。

当学区の訓練の特徴は、旭竜小学校の土曜日授業と連携し、小学校児童が参加している点です。これは、児童に早くから防災の大切さを知ってもらおうというものです。

今回は、小学生159名を含む427名の参加がありました。体育館に避難後は、AEDを使用した心肺蘇生訓練を実施し、また、DVDアニメ「稲むらの火」を上映しました。児童の皆さんは、このDVDを見て、財産よりも命の方が大切だとい



要援護者の避難訓練



旭竜小学校体育館に避難した人々

うことが分かってくれたものと思っています。今後も毎年度旭竜小学校と連携した防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の高揚を図り、自助・共助の大切さを訴えてまいります。なお、「稲むらの火」の逸話の元になった安政南海地震の発生日の11月5日（1854年）は、昨年12月国連総会本会議において、満場一致で「世界津波の日」として決定されました。

城東台夏まつりについて

城東台学区連合町内会
会長 石畑 福功

城東台学区は、1156世帯岡山市有数の住宅団地です。いわゆる振興住宅地で、先輩たちが、地縁も血縁もない、さまざまな地域から集まった人達に、地域の連帯感とコミュニケーションを図ろうと町内会主体で「夏まつり」を立ち上げました。町内会の組織部、各種団体が主体の実行委員会形式になり、平成22年度からは「岡山市の区づくり推進事業」に認定され現在に至っています。

内容は、子供から大人までが参加してポスターコンクールを実施し、そのポスターの優秀作品を、「まつり」のプログラムの表紙に使用し「まつり」を盛り上げます。後は、ステージ発表、夜店、抽選会です。

平成27年度も8月22日に開催し、天候にも恵まれ約2300名位の人出がありました。27年度からは、少年消防クラブによる「防災の話」も発表しています。

今後の課題は、さまざまな地域から集まった人達を「夏まつり」等に



城東台夏まつり

集め、コミュニケーションを図り、区班活動の結びつきを強め「向三軒両隣」の地域活動の原点を構築することです。それともう一つは、実行委員会が固定化、高齢化してきていますので、次の世代に「繋ぐ」継承をしていくことです。

明るく 元気に 遅しく

町内会長夜間パトロール

地 域 の 安 全

平島学区連合町内会

岡山の開祖・宇喜多氏飛躍の地

浮田学区連合町内会

浮田小学校の東に亀山城跡
国史跡小廻山など史跡の里

詳しくはホームページをご覧ください。

天然ガスでくらし快適。



岡山ガス

<http://www.okagas.co.jp/>

おかやまマラソン 熱気あふれる

第二藤田学区連合町内会
会長 遠藤 太郎

全国から1万4千人が参加し、8日に岡山市で初開催されました「おかやまマラソン」。地域活性化も掲げた一大スポーツイベントは、13万4千人（主催者発表）が繰り出した沿道からの声援やボランティアのおもてなしが多かった。となく「冷めている」といわれる岡山県民。イメージとは対照的なあの熱気は、なぜ生まれたのでしょうか。

「中心市街地以外でもどこまで人が集まるかが鍵」。ある関係者は、郊外の盛り上がりが大会の成否を決めると考えていました。大規模マラソンにおいて、応援は大会の評価を左右します。第一回とあって人出は読みにくく、前夜からの雨も関係者をやきもきさせていました。

その結果、全コースの約4分の1を占める藤田



おかやまマラソンの様子

地区ですが「田園地帯に人がいかなかったらランナーが寂しい思いをする。何とかしよう」と藤田地区連合会は、本番1か月ほど前から秋祭りや応援を呼び掛け、子ども会などの団体にも協力を要請しました。関係者の懸念をよそに、郊外の沿道は人であふれました。住民総出でチアステイックを打ち鳴らし、地域が一つになり、藤田の結束力をアピールできたことと思います。

地域の宝「海辺の小学校」

小串学区連合町内会
会長 藤澤 正直

児島湾に面したわが小串学区には、「海辺の小学校・小串小学校」があります。全校児童が36名の小規模校です。児童数は、少ないが、地域とのつながりが深く、地域の団体や住民・保護者が応援隊となり、毎年多くの行事等を行っています。

また、小串小学校は、ESDの推進校にもなっています。

里海の豊かさを知り、環境を守る活動を実践している中で「つば網体験学習」や「のりすき体験学習」などは、地元の魚業組合や地域のボランティアが連携して、他ではできない「小串ならではの」のものとなっています。児童もこれらの活動を通して、地域住民との関わりを深め、環境を守る活動につながっています。

また、5月に行われる運動会では、地域と学校が一緒に行う「地域ふれあい大運動会」となっています。体協・町内会・小学校が連携協力して、参加型運動会として、楽しい一日となっています。さらに、学区防災訓練



つば網体験学習

を行ってしています。小串地区は、暴風警報・高潮警報が発令されると、小学校の体育館が避難所となります。

防災訓練については、防災に関わる講演会や救急法講習会などを開催しています。

最後に今年度は、小串小学校が平成29年秋には、新しい校舎となる朗報が入りました。小学校の北館は、全面改築となります。先日、期成会が開催され、地域としては、うれしい限りです。

これからも、小串小学校がわが地域の宝でありつづけることを願っています。

地域とともに 未来を拓く

藤田団地事業協同組合
一般社団法人藤田団地管理組合
藤田団地汚水処理施設管理組合
藤田企業団地自治会

〒701-0221 岡山市南区藤田564番地166
電話 086-296-0020
FAX 086-296-0021

SPORTS ENTERTAINMENT **ROUND1 STADIUM**

BOWLING AMUSEMENT DARTS KARAOKE SPO-CHA

国道2号沿い妹尾西交差点を東へ約900m 無料駐車場台数520台
岡山県岡山市南区妹尾3413-1
岡山妹尾店 TEL 086-282-8851
http://www.round1.co.jp/

「淳風誠心」～人にやさしく、心をこめて～



社会福祉法人 淳風福祉会

<http://junfuku.jp>

若宮園・若宮の杜 TEL (086) 281-0862
〒701-0206 岡山市南区箕島3566-1
淳風ライフケアポート TEL (086) 252-5050
〒700-0072 岡山市北区万成東町2-28

ねね（北政所）と足守

足守学区連合町内会 副会長 田中 浩志

足守藩は、関ヶ原の戦い後の1601年（慶長6年）、豊臣秀吉の正室ねね（北政所のちの高台院）の兄で播磨国姫路城主木下家定が、備中国賀陽郡と上房郡の一部に二万五千石を与えられたことに始まります。

初代家定は関ヶ原の戦いでは、中立を貫きねねを警護しました。家定の長男勝俊は東軍（徳川方）に、二男の利房は西軍（石田方）に属していた木下家ですが、戦の後木下家は足守に移封され存続しました。これもひとえに徳川家康の厚い信頼を得ていたねねの政治力の賜といえましょう。

1608年（慶長13年）家定没後家康は遺領を勝俊と利房で領有するよう命じましたが、ねねが勝俊に全領を与えたため、家康の勘気に触れ足守藩は全領没取され、浅野長晟が藩主となりました。

その後、利房は1614年（慶長19年）の大坂冬の陣、翌年の夏の陣での軍功を家康に認められ、父家定の遺領足守藩を与えられ、木下家は明治時代までの約260年を生き抜きました。

このような縁から、ねね亡き後菩提を弔った木下家には、秀吉・ねねゆかりの貴重な歴史資料が数多く残

されており、多くは岡山シティミュージアムに寄託されています。

陣屋から南西の方角約1km程に、木下家の菩提寺大光寺があり、本堂の南側の霊廟には、正面に豊臣秀吉とねねの位牌をまつり、左右には、歴代藩主等の位牌が配置されています。

本陣と陣屋町の形成は、四代藩主利當が二十数年間をかけて整備し、藩の基礎を作り上げました。現在も武家屋敷やいろいろな虫籠窓の商家が残存し、江戸時代にタイムスリップしたような空間を残しています。



霊廟内の秀吉とねねのお位牌

猪対策の先達にめぐり逢う

古都学区 古都南方下農家組合長 安井 一博

闇夜の峠道を車で帰宅中、突然何かが前方に現れ、私は急ブレーキを踏み込みました。

「猪（シシ） 神様!」と想える程、威厳に満ちた、白く大きな猪（イノシシ）が、私の目の前を、ゆっくりと歩いて行くのです。

古都へと帰る明王寺の峠での出来事です。その後、私は、この猪に二度遭遇しました。

猪の被害は、古都では5年程前から急増し、夜中には津波の如く、猪達が押し寄せて来ているのでしよう。

春は、竹の子を喰い尽くされ、夏は、丹精込めて育て上げてきたブドウが一夜の内に喰い散らかされ、秋は、やつと実った稲穂の田へ猪が侵入し、転げ回り、稲も農機具も猪の悪臭に犯され、冬はミミズやザリガニ等を喰うのか、田畑、畦、農道といった所が掘り起こされて行くのです。猪対策として、市

の出前講座を聴講し、各自で柵や電気柵で田畑を囲っています。しかし、それでも猪は、電気柵を押し倒し侵入して来る事が、度々あります。荒らされた柵や掘り起こされた田畑、畦道を復旧させる事は、重労働です。「もうー百姓は、やめじゃー」と嘆く人が、一人、二人、三人と増えています。

古都南方スポーツ広場には、サッカーや野球を楽しむために、たくさんの親子連れが来られます。しかし広場の周辺では、すでに猪の被害が多発しているのです。

光南台学区では、平成26年4月に、11町内会の30名と、関連団体の猟友会役所、JA、地域センター、光南台公民館が、鳥獣被害対策協議会を結成し、耕作放棄地の復元や冊子『光南台の猪』を配布し人材教育を進めています。

猪対策の先達（せんだち）先駆者と言える人達が集まる光南台公民館へ、私は何度も通っています。先日、猪の命を頂く会に参加し、猟師の方をはじめ料理された愛育委員の人達と共に、食べ語り笑い、楽しい一時を過ごさせて頂きました。

町民が一体となって活動する姿を身近に感じ、我が古都学区も、少しでも見習いたい、と願って思っています。



第三藤田学区の自主防災訓練

―避難所―泊体験訓練―

第三藤田学区連合町内会 会長 岡本 晴光

藤田学区はそのほとんどが海拔ゼロメートルで大津波、豪雨による堤防決壊が発生するとすべて水に飲み込まれてしまう地域です。

第三藤田学区はこのような災害が起きたとき被害を最小に押さえるため「自助」をテーマに防災訓練を実施してきました。

今年度は、通常の防災訓練だけでなく避難生活―泊体験訓練を新たに取り入れて実施しました。9月20日（日）の通常の訓練では最初に災害救助犬の要救助者を捜索する様子と、岡山市消防職員のはしご車を使つての救助活動を見学した後、十数人ずつの班に分かれ簡易担架作りと救助訓練、煙室体験と避難時の注意、起震車での地震体験、消火器を使った初期消火の方法、AEDの使用方法和心肺蘇生法の練習、ロープの結び方などの講習を全員で体験し学びました。―泊体験訓練では、

簡単な食料、飲料水、照明具、寝具等を各自で用意し、小学校低学年から高

齢者を含む約40名が体育館に避難し一夜を過ごしました。翌朝、起床後一人一人の感想を聞きましたが「意外に寒かった」「背中、頭が痛い」などの声が多く、寝具としての寝袋、敷物や枕は必需品であると痛感しました。

今後も内容を工夫し、被害を最小限に抑えるため一人一人の意識を高め、災害に対する準備や心構えなど第三藤田学区の人たちは防災の意識が高いと自慢できる地域づくりを目指していきます。



―泊体験訓練の様子

「ジョギングに最適」

グリーンアベニューの紹介

芳田学区連合町内会 会長 吉森 旭

グリーンアベニューは、芳田学区の東部に南北の長い歩道であり、昭和59年12月に廃業した岡山臨港鉄道の跡地で平成6年岡山市が整備した2キロメートルにおよぶ緑道臨港グリーンアベニューです。このグリーンアベニューの南口に全行程の案内があります。

ウォーキングコースには、トレーニングが可能なベンチがあります。また、「かごめ」「あんたがたどこさ」「げんこつやまのたぬきさん」などのわらべ歌が彫られた腰掛もあります。

また、水辺ゾーンには壁泉から流れ落ちた水が小川を通つて小さな池にたまり、壁泉から流れ落ちる水音はやさしく、心をなごませてくれます。

北へ進むと用水路との交差部分には、さまざまなデザインの新保駅、岡山新保駅の「ホトトギス」の絵が形とられていいます。

つぎに、当時の岡山臨港鉄道の岡南新保駅のプラットホームが残されており、その横にはカラクリ時計付き信号機があり、一日に4回鉄道唱歌が流れ、駅長さんが首を振りながら出てくるそうです。さらに「手づくり郷土賞」が掲げられ、緑道臨港グリーンアベニューは、平成6年手づくり郷土賞

を受賞しています。

また、新保遊歩道は、中環状線下野平井線が整備され、横断陸橋が平成14年3月に竣工されました。

つぎに進みますと、機関車高欄があり臨港鉄道在りし日に線路をいさみしく走っていた「機関車」の姿が残されています。

緑いっぱいの行程には楽しいポイントが満載です。ぜひ、あなたもジョギングしてみませんか。



岡南新保駅



手づくり郷土賞 記念碑

カメラ蒐集集

南方地区連合町内会 会長 小野 大作

「チャッ」思いのほか静かな軽快なシャッター音が響く。

「いい音だなあ」30年以上使っている愛機のライカM3を手に、自宅の「城」で満悦。壁際の4段棚にはカメラとレンズとアクセサリがぎっしりある。ライカ、コンタックス、ハッセルブラッド、ニコン、そしてマニアックだがアルパなど、世界のカメラ史に名を残す国内外の名機が100台以上並ぶ。エッジの塗装がはげたり、ボディの鈍い光沢に使用感がにじむが、どれもいつでも使えるカメラばかり。

デジタルカメラもあるが、大半は1950〜70年代に製造されたクラシックカメラである。そのため、デジタルの波には大幅に乗り遅れてしまった。

銀塩カメラは、撮影するためにフィルムを装てんし、明るさに応じて露出を調整し、シャッター速度を決め、ピント合わせる。現像するまで思い通りに写っているか分からない。デジカメに比べて手間が掛かるこ

とばかりだが「あくまで遊びだから、不便さも大きな楽しみの一つ」だと考える。

カメラとの出会いは中学時代。父親から譲り受けたミノルタSR7で撮影を始めた。

私はもともと絵が好きだったので「美しいと感じた景色が絵よりも簡単に、しかも早く切り取れる」と写真に魅せられた。



アート・ペッパー

中学では写真部に所属し、高校時代には自宅で現像や引き伸ばしも始めた。以来50年近く常に最大の趣味は写真だ。

本格的にカメラ蒐集を始めたのは1990年前後からで、他の愛好家らと機体の面白さやレンズのうんちくを語り合ううち、次第にカメラ本体への興味も募っていった。

国内外のカメラ店を回り、目当てのカメラを購入。ニューヨークのオークションに参加して、落札したこともある。蒐集する基準は実用最優先。また、気に入ったカメラはバックアップ用に複数台そろえる。特にライカは新しいほど優れているとは限らない。同じ機種でも年代によって質感やシャッター音がすべて違う。デジカメにはない機械らしさが何よりの魅力だ。

当然引伸機もライカのフォコマートII Cを使っている。これはモノクロームの微妙な色合いも再現できる。1954年に製造されたもののなのに、今更ながら、自動ピントだということに驚かされる。



蒐集したカメラ

趣味は年齢も性別も職業も関係ない。互いに裸の気持ちでつきあえる関係は趣味ならではと思う。

心がウキウキと弾む春先、また真夏の青空が見たくなつた時、クラシックカメラを手に町に出て「きれいだなあ」と感じた風景にレンズを向ける。「カメラと出合えて美しいものに敏感になれた。カメラは人生を豊かにしてくれた一番の友人です」



ミルト・ジャクソン

岡山市連合町内会の動き

◎理事会

- ・第6回（10月21日）
町内会長等懇談会について他
- ・第7回（12月18日）
町内会長等懇談会について他
- ・第8回（1月28日）
町内会共済制度について他
- ・第9回（3月25日）
事業計画について 他

◎常任理事会

- ・第5回（10月14日）
会員視察研修について 他
- ・第6回（12月10日）
視察研修収支報告について他
- ・第7回（1月20日）
町内会長等懇談会について他
- ・第8回（2月29日）
事業計画について 他
- ・第9回（3月14日）
事業計画について 他

◎会計監査会議

- （10月19日）（2月16日）

◎専門委員会

- ・ゆかりの地との交流及び郷土史研究会（12月15日）
（2月25日）（26日）
- ・会報第27号編集委員会
（11月16日）（1月22日）
（2月23日）（3月4日）
- ・共済制度運営委員会
（1月18日）
- ・男女共同参画専門部会
（12月11日）（1月12日）

・協働条例推進委員会
（11月19日）

◎岡山市連合婦人会との懇談会
（10月7日）〈関連記事P5〉

お互いの活動状況について意見交換を行った。

◎鳥取・姫路・岡山姉妹交流会
〈関連記事P4〉

（9月24日）（12月17日）

◎常任理事会構成員等による視察研修（坂井市・福井市）
〈関連記事P3〉

（9月28日）（29日）

◎豪雨災害の各被災地へ義援金を送金（10月19日）



岡山市の各学区・地区連合町内会から集まった、台風18号等による豪雨災害の被災地へ送付する義援金を、茨城市の災害義援金口座、栃木県の災害義援金口座、大崎市の災害義援金口座にそれぞれ送金しました。

◎会員視察研修（和歌山県田辺市）
〈関連記事P6〉

（11月5日）（6日）

◎市長、教育長、岡山っ子育成局長等との懇談会
〈関連記事P5〉

（10月29日）

◎岡山っ子育成局との懇談会
（1月13日）

◎新春互礼会及び市政報告会
〈関連記事P8〉

（1月7日）

◎岡山市町内会長等懇談会実行委員会
（9月17日）（10月14日）
（12月15日）（1月20日）

◎岡山市町内会長等懇談会
〈関連記事P1〉

（2月7日）

◎女性町内会長との懇談会
（3月3日）

◎受賞報告

◇全国自治会連合会会長表彰
（10月27日）
久世 英一、岸本 俊男

◇全国自治会連合会30周年特別功労感謝状（10月27日）
兼松 久和、橋本 進

◇岡山市有功表彰
（11月3日）
天久 嘉弘、渡邊 學

◇渡邊 盛幸

◇永年勤続町内会長市長表彰
（12月3日）
20年以上勤続単位町内会長

：9名（表彰状）
退任（5年以上勤続）単位

町内会長・区長
：6名（感謝状）
（氏名は敬称略、順不同）

◇平成27年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰
（11月25日）

高原 久幸 立川 恭司



11月25日に総務大臣による団体功労者表彰を受けました。みなさまのおかげです。日本一の岡山市への思いを込めて、前進できればと心を込めて願っています。ありがとうございました。

岡山県自治会連合会の動き

◎平成27年度全国自治会連合会石川県金沢大会
〈関連記事P4〉

10月27日（金沢市）
石川県金沢市において開催され、岡山県自治会連合会から13名（事務局含む）が参加しました。

◎小規模多機能自治に関する研修会〈関連記事P7〉
11月13日

◎小規模多機能自治に関する研修準備会と総括
（10月2日、11月25日久米南町）

◎中四国自治会連絡協議会広島県福山大大会
〈関連記事P8〉

2月10日（福山市）

全国自治会連合会の動き

◎平成27年度全国自治会連合会石川県金沢大会
〈関連記事P4〉

10月27日（金沢市）
◇全国自治会連合会会長表彰
全国受賞者 70名

岡山県受賞者 3名
岡山市関係者 岸本 俊男

久世 英一

◇全国自治会連合会創立30周年記念特別功労感謝状
全国受賞者 38名

岡山県受賞者 3名
岡山市関係者 兼松 久和

橋本 進

◎平成27年度自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰式
11月25日（東京都）
全国受賞者 72名

岡山県受賞者 3名
岡山市関係者 高原 久幸

立川 恭司

◎中四国自治会連絡協議会
〈関連記事P8〉

2月10日（福山市）
（氏名は敬称略、順不同）

ク
イ
ズ

次の2つ条件に従って後の㉠～㉣の漢字のしりとりを完成させてください。

条件1 [A][B][C]には「各、閣、格」のよう

に同じ音読みで共通した部分を持つ字が入ります。

条件2 ①②に入る字は、①②の選択肢から

選んで下さい。

例 [A]社 — 社内 — 内[B] — [B]① —

①会 — 会② — ②[C] — [C]別

①②の選択肢「頁・議・合・集・談・面」
答えⅡ A各 [B]閣 [C]格 ①議 ②合

㉠ 重[A] — [A]① — ①意 — 意地 —
地面 — 面[B] — [B]② — ②功 — 功[C]

①②の選択肢「故・好・成・大・任・年」

㉡ [A]急 — 急① — ①[B] — [B]心 —

心外 — 外② — ②[C] — [C]技
①②の選択肢「気・見・行・追・野・用」

正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。
〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市連合町内会 会報編集委員会

〈締切〉平成28年4月29日必着

〈発表〉発送をもって代えさせていただきます。

前号の答え

- | | | | | | | |
|-----|----|----|-----|----|----|----|
| ①実費 | 実学 | 実悪 | ⑥局番 | 品番 | 茶番 | 店番 |
| ②費用 | 学用 | 悪用 | ⑦命令 | | | |
| ③意図 | 意表 | | ⑧令息 | | | |
| ④図面 | 表面 | | ⑨害虫 | | | |
| ⑤薬局 | 薬品 | 薬茶 | ⑩虫歯 | | | |

岡山市市民憲章を知っていますか？

岡山市は美しい自然と豊かな風土に恵まれ、すぐれた教育文化の伝統を持つております。私たち市民は、この岡山市を愛し市民であることを誇りにしていますが、さらに、みんなの努力と協力によって、より美しく住みよい近代的民主社会を築いてゆくことを念願し、ここに岡山市民として実践してゆかねばならない日常生活の規範を定めます。

- みんなに親切をつくくし、あたたかい楽しいまちをつくりましょう。
- 秩序と規則を守り、明るい安全なまちをつくりましょう。
- 花や木をたいせつに育て、美しい緑のまちをつくりましょう。
- 紙くずやゴミの始末をよくし、気持ちよい清潔なまちをつくりましょう。
- 文化財をたいせつに守り、伝統あるゆかしいまちをつくりましょう。

編集後記

昨年11月には、第1回岡山マラソンが各地から大勢の参加をいただき、それを支える市民の皆様の協力をいただき盛り上がった大会になったこと、関係各位のご苦勞には痛感いたしました。

新たな年【申】は「災いがさる」とも言われる吉兆の年でもあります。市連合町内会の活動報告や地域づくりを応援する記事により分かりやすく読みやすい紙面に努め市民のご要望に応えたい思いを基に出来上がった会報誌27号です。

また、大森雅夫市長も年頭で、新しい総合計画の策定、新市民会館の基本計画、路面電車の岡山駅広場乗入れに向けた検討等々、岡山市の将来を見据えた方向性を示していただき、私共も安心して暮らせる町づくりの意を共有し、前に進みたいと望みます。

文末になりましたが、ご理解、ご協賛を頂きました各企業の皆様方並びに広告募集にご苦勞頂いた皆様、そして、ご執筆、ご寄稿頂きました多くの皆様に心より感謝申し上げます。



【編集委員長】

中松 征夫

【編集副委員長】

長門 修二

【編集委員】

多賀 克充
小野 大作
正保 弘行